

はぐくみ

平成 29 年 12 月 4 日発行 No. 9 3

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

学力の向上に向けて

～ 「全国学力・学習状況調査」の学力調査問題を生かす ～

全国学力・学習状況調査の学力調査問題は、形を変えて言えば、「求められている学力」という捉えもできるのではないのでしょうか。「全国学力・学習状況調査での成績をあげる」ためでなく、「子供たちの将来にとって身に付けておきたい学力をつけていく」ために、「全国学力・学習状況調査」を活用して学力の向上を図っていくことも考えていきたいと思えます。

《 解説書を授業改善に生かす 》

調査問題にはいろいろなメッセージが含まれています。それらを理解して指導に当たっているのか、そうでないか、によって指導の質が変わってくると考えられます。「全国学力・学習状況調査」の解説書及び「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」に、その部分が示されています。

【国語】

- 「知識」に関する問題
 - ・ 描写、要約、紹介、説明、記録、報告、対話、討論などの基礎的な言語活動に関すること
 - ・ 表現したり理解したりするための言語事項の基礎的な知識技能、我が国の言語文化に親しむ内容に関すること
- 「活用」に関する問題
 - ・ 日常生活や社会生活で必要とされる読書・鑑賞・創作などの言語の活動の活用に関すること
 - ・ 文章を読んで筆者の主張の内容やその表現方法などを評価すること
 - ・ 伝えたい内容をまとめ表現すること
 - ・ 様々なメディアを活用することによって課題を多角的に探求すること

【算数・数学】

- 「知識」に関する問題
 - ・ 整数、小数、分数等の四則計算をすること
 - ・ 身の回りにある量の単位と測定が分かること
 - ・ 図形の性質が分かること
 - ・ 数量の関係を表すこと
 - ・ 変化の様子を調べること
 - ・ 確率の意味を理解し確率を求めること
- 「活用」に関する問題
 - ・ 物事を数・量・図形などに着目して観察し的確にとらえること
 - ・ 与えられた情報を分類整理したり必要なものを適切に選択したりすること
 - ・ 筋道を立てて考えたり振り返って考えたりすること
 - ・ 事象を数学的に解釈したり自分の考えを数学的に表現したりすること

また、記述式の問題に関して、どのような記述（その記述を導くための思考）を求めて出題されているのかについては、次のとおりです。

【国語】

- 知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況等に応じて自分の考えを明確にして書くこと
- A 話すこと・聞くこと…スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理したり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別したり、また話し合いの中で自分の考えなどをまとめたりして書くような内容
 - B 書くこと…書くことの一連のプロセスの各段階で必要とされる能力を抽出し、前述した様々な文章の種類や形態の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書くような内容
 - C 読むこと…目的に応じて本や文章を読み、その内容や構成などについて理解したこと、要旨や書き手の意図について解釈したことなどを書くような内容。また、これまでの読書経験、体験などと関係付けながら、感想や評価などを書くような内容

【算数・数学】

- (a) 見いだした事柄や事実を説明する問題（事柄・事実の説明）
- (b) 事柄を調べる方法や手順を説明する問題（方法・手順の説明）
- (c) 事柄が成り立つ理由を説明する問題（理由の説明）

《 「ピックアップ問題」を生かす 》

昨年度まで、全国と県の学力調査の結果を受けて、課題改善のために「チャレンジ問題」と「ピックアップ問題」の2種類の「問題」を配信してきました。「チャレンジ問題」は、4月の全国調査問題のうちで課題のあった問題を選び、再度その問題に取り組むことで改善されたかどうかを測定する。「ピックアップ問題」は、4月の県把握調査問題に再度取り組ませて課題が改善できたかどうかを測定する。それぞれに目的がありましたが、今年度から、「ピックアップ問題」の機能を、チャレンジ問題の中に取り入れ、改めて「ピックアップ問題」として統一し、実施するという学校現場で活用しやすい形に改善しました。既に、教育事務所から全小中学校に紙媒体で配付され、ピーチウエアでも電子データで配信されております。各学校では、研究主任等が中心となって、**説明資料「ピックアップ問題 授業での活用の仕方」**を使って全職員に問題の活用方法を周知し、小1を除く全学年で取組を行っていただきたいと思います。

◆◆初任者研修授業研修実習校研修会◆◆

平成29年度初任者研修授業研修実習校研修会は、5月12日（金）に小学校対象者23名が塩山南小学校において、5月26日（金）に中学校対象者9名が一宮中学校においてそれぞれ開講しました。峡東地区では、小・中それぞれの学校において5回の研修会が開催され、11月17日（金）に小学校、11月24日（金）に中学校が開講式を迎えました。



この間、塩山南小学校・一宮中学校において、師範授業（下表）の提供・研究会の開催等、大変充実した研修会を開催していただくことができました。小林俊彦塩山南小校長、古屋義彦一宮中校長をはじめ、両校の先生方の御協力により、実り多い初任者研修とすることができました。改めて感謝いたします。

32名の初任者の先生方は、この研修を通して、教育者としての使命感と実践的指導力を養うとともに、幅広い知見を得ることができたと思います。各校での授業・教育活動の実践にいかし、更に向上していくことを期待いたします。

| 塩山南小学校会場 | | 一宮中学校会場 | |
|----------|------|----------|------|
| 師範授業者 | 教科等 | 師範授業者 | 教科等 |
| 小椋 規雄 教諭 | 校内研究 | 伊藤 香織 教諭 | 校内研究 |
| 赤星 美佐 教諭 | 国語科 | 古屋 雅子 教諭 | 英語科 |
| 鈴木 千秋 教諭 | 音楽科 | 深山 大士 教諭 | 社会科 |
| 雨宮加代子 教諭 | 道徳 | 矢野 雅子 教諭 | 国語科 |
| 中村 英彦 教諭 | 理科 | 森田 喜子 教諭 | 道徳 |

◆◆中堅教諭等資質向上研修◆◆

11月7日（火）、日下部小学校において「中堅教諭等資質向上研修」が開かれました。従来行われていました「十年経験者研修」が、教特法の一部改正により今年度より改められました。

管内16名の研修者の中から、日下部小学校の中村未来教諭が2年生の音楽の授業を提供してくれました。音楽科の授業を通し、「やまなしスタンダード」の日常化に向けて、互いに今後の授業実践にいかすための研究協議を行いました。

また、常に謙虚な気持ちで指導することや、ミドルリーダーとしての自覚など、10年をひとつの節目として、大切な部分を確認することができました。



◆◆指導主事学校訪問要請◆◆

| 月・日 | 学校名 | 形態 | 教科等 | 学年 | 研究内容等 |
|-------|------------|------|-------|----|--|
| 12/1 | 山梨市立山梨小学校 | 研究授業 | 国語 | 2年 | 組み立てを考えてはっぴょうしよう「あったらいいな、こんなもの」 |
| 12/1 | 笛吹市立御坂東小学校 | 研究授業 | 学級活動 | 4年 | 「もったいない」を解決しよう |
| 12/1 | 笛吹市立御坂東小学校 | 研究授業 | 家庭科 | 6年 | かしこく買って 上手に作るう |
| 12/6 | 山梨市立山梨北中学校 | 研究授業 | 保健・体育 | 1年 | 球技(ゴール型)「ハンドボール」 |
| 12/6 | 甲州市立松里中学校 | 研究授業 | 理科 | 3年 | 水溶液の分類の実験計画をたてる |
| 12/6 | 甲州市立松里中学校 | 研究授業 | 保健・体育 | 1年 | バレーボール |
| 12/6 | 甲州市立大藤小学校 | 研究授業 | 国語 | 2年 | 国語・しかけカードの作り方 |
| 12/11 | 甲州市立塩山中学校 | 研究授業 | 特別活動 | 1年 | 特別活動 学級活動「エゴグラムをもとに社会的スキルの向上を目指そう」(2)適応と成長及び健康安全 |
| 12/11 | 山梨市立日下部小学校 | 研究授業 | 国語 | 1年 | じどう車くらべ |
| 12/18 | 笛吹市立石和西小学校 | 学習会 | 道徳 | | |
| 12/20 | 笛吹市立御坂西小学校 | 学習会 | その他 | | |